

クリック率を2倍にする 広告配置とサイズ

第参章～part 3～

【推奨環境】

このレポート上に書かれている URL はクリックできます。

できない場合は最新の AdobeReader をダウンロードしてください。

(無料) <http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

◆著作権について 当レポートは、著作権法で保護されている著作物です。

使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

◇レポートの著作権は、作者にあります。作者の書面による事前許可なく、本レポートの一部、または全部をインターネット上に公開すること、およびオークションサイトなどで転売することを禁じます。

◇本レポートの一部、または全部をあらゆるデータ蓄積手段(印刷物、電子ファイル、ビデオ、DVD、およびその他電子メディアなど)により複製、流用および転載することを禁じます。

◆使用許諾契約書

本契約は、レポートダウンロードした法人・個人(以下、甲とする)と作者(以下、乙とする)との間

で合意した契約です。本レポートを甲が受けとることで、甲はこの契約は成立します。

第1条(目的)本契約は、本レポートに含まれる情報を、本契約に基づき、甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

第2条(第三者への公開の禁止)本レポートに含まれる情報は、著作権法によって保護されています。また、本レポートの内容は、秘匿性の高い内容であり、甲はその情報を乙との書面による事前許可を得ずにいかなる第三者にも公開することを禁じます。

第3条(損害賠償)甲が本契約の第2条の規定に違反した場合、本契約の解除に関わらず、甲は乙に対し、違約金として、違反件数と金壱万円を乗じた価格の10倍の金額を支払うものとしします。

第4条(その他)当レポートに沿って実行、期待通りの効果を得ることができず、万一如何なる損益が生じた場合でも、乙は甲に対して責任を負わないものとする。

もくじ

- ① クリック率について
- ② 広告の配置
- ③ 広告のサイズ
- ④ 広告を見てもらう

クリック率について

■ クリック率（CTR）というのは、広告のクリック数をPV数で割った数値のことを表わします。

『広告のクリック数』 ÷ 『PV数』 = クリック率（CTR）』

一般的な平均クリック率は0.7%～1%だと言われています。

ですが、トレンドブログの実践者の中にはクリック率（CTR）が0.3%だとか0.5%だとかいう人は少なくありません。

1%の人と比べると約2倍も差が出てしまうため、

0.5%の人がクリック単価30円で30万PV集めても、約5万円。

しかし、1%の人がクリック単価30円で30万PV集めれば10万円近く稼ぐことができます。

この差は非常に勿体無い！！

■ ネットに強いユーザーが多いようなジャンルだとクリック率が低くなりやすいこともあるのですが、

そうではないトレンドブログ実践者が良く書くようなジャンル（芸能や美容、ファッションなど）でクリック率が低いというのは少し違和感がありますね。

その場合は『**広告の位置**』と『**広告のサイズ**』に問題があるケースが多いです。

今回紹介する方法を試していただければ、

以前までのクリック率は0.5%だった人が1%と一般的なラインに到達することもありますし、

ブログによっては、クリック率が2%になったというケースもあります。

試してみて損はありませんし、むしろ利益が得られる可能性が非常に高いので、ぜひ参考にしてみてくださいと思います♪

広告の配置

■ 今回僕が紹介する広告の配置と広告のサイズは、

僕と大学生のコンサル生が実際にクリック率を上げた方法です。

しかし、どんなブログでもクリック率（CTR）が上がるとは断言することができないので、とりあえず試しに1ヶ月程度は様子を見てみるようにして下さい。

もし仮に、前回の広告配置やサイズの方がクリック率は高かったという場合はまた戻していただければと思います。

ただ、僕はトレンドブログで漫画や芸能関係の記事を書いているのですが、この広告の配置とサイズにしたらクリック率は1.2%～1.7%に変動しました。



■ 広告の配置はバランスよく、記事上、中央、そして一番下に配置しています。

この際、

広告と広告の間には必ず500文字以上は間隔を空ける

ようにして下さい。

■ それと 2016年以降からGoogleアドセンス広告は『3つまで』という規制はなくなり、その記事に見合った数の広告を配置することが可能になりました。

なので、一つの記事に5個とか7個とかのアドセンス広告を配置できるようになったわけです。

だからと言って無闇矢鱈にアドセンス広告を貼っていいわけじゃないですよ。

目安としては、1500文字以上で3つ。

それ以降は700文字に1つアドセンス広告を貼るようにしておけばGoogleアドセンスの規約違反のリスクを減らすことができますね。

広告のサイズ

■ 次は『広告のサイズ』の設定を行いましょう。

2018年以降の仕様だと、

『テキスト広告とディスプレイ広告』を選択した時、すでにGoogle側が推奨しているサイズの『レスポンシブ』になっています。

これは変更せずに、そのまま記事に挿入します。

しかし、記事に挿入した後、

『auto』の部分を『rectangle』に変更します。

```
<center>スポンサーリンク<br>
<script async src="//pagead2.googlesyndication.com/pagead/js/adsbygoogle.js"></script>
<!-- [redacted] -->
<ins class="adsbygoogle"
  style="display:block"
  data-ad-client="[redacted]"
  data-ad-slot="[redacted]"
  data-ad-format="rectangle"></ins>
</script>
(adsbygoogle = window.adsbygoogle || []).push({});
</script>
</center>
```

ここが『auto』だった！
『rectangle』に変更しよう！

■ 『auto』から『rectangle』に変更することで、パソコンからでもスマホからでも、ユーザーが見やすい広告サイズに自動で変換されるので、クリックもされやすくなります。

広告を見てもらう

■ ここからはクリック率をアップさせることなく、

『広告を見てもらう』ということに視点を変えていきます。

広告を見てもらうことが出来なければ、当然クリックもされることはありません。

ユーザーにできるだけ多く広告を見てもらうための戦略を紹介していきます。

1. 滞在時間を伸ばす

■ Googleの仕様変更で、1記事にアドセンスを3つ以上表示させることができるようになりました。

それらすべてを見てもらうことができれば、当然、クリックしてもらう可能性も高くなります。

しかし、

すべてのユーザーに記事を最後まで読んでもらうというのは至難の技。

ユーザーによっては、最初の見出しだけ読んでページを閉じる人もいますし、

最後まで読んでページを閉じる人もいます。

■ 重要なのは、『**すぐにページを閉じられないこと**』です。

そのためには、

1つの記事だけで満足させるのではなく、

それに関連する記事を表示させたり、

関連した記事へのリンクを用意して、

「あ、この記事も面白そう」

と、思ってもらい、ページを開いてもらうことが理想です。

一人当たり2ページ以上見てくれる場合、広告をクリックしてもらえる可能性も2倍になります。

なので、積極的に関連記事を表示させるようにしましょう！！

他にも、サイドバーに魅力的なコンテンツを作成するのもおすすめ！

II,記事を最後まで読んでもらう

■ アクセスさえあれば記事上の広告は必ず見てもらえるのですが、**記事下の広告は最後まで読まれなければほとんど見てもらえることはありません。**

それに、広告を表示させること以前に、

やっぱり、せっかく記事を書いたのに最後まで読んでももらえないというのは少し寂しいですね。

■ **トレンドブログに訪れるほとんどのユーザーは、情報を求めているわけなので、記事上の広告は表示されたとしてもクリックされない可能性があります。**

よっぽど記事に魅力がなければ記事上の広告もクリックされるかもですね笑

しかし、僕は魅力のない記事、質の悪い記事の量産はオススメしていません。

そういった記事の量産は、Googleからのペナルティの恐れがあるので。

Googleペナルティに関しては別マニュアル、

【第貳章～part2～ Googleペナルティについて】

で解説しているので、反復してペナルティに備えましょう！！

■ トレンドブログに訪問するユーザーのほとんどは、情報を求めてやってきます。

ということは、

記事を最後まで読み、もしその記事だけで満足させることができれば、他の面白そうな記事を読んで見たり、気になる広告があればクリックしたくなる可能性が高くなるんじゃないですか？！

なので、記事を最後まで読んでもらうための魅力的な記事を書くように心がけましょう。

このような記事を書くために意識していただくことは**5つ**。

✓見出しを用意して、どこに何を書いてあるかわかりやすく。

■ ユーザーがブログに訪れたら、求めている情報がありそうなところまでさくさくとスクロールします。

その際に、文字がびっしりと詰まっていると読む気がなくなってしまってページを閉じられます。

なので、見出しを用意してよりわかりやすく、見た目もスッキリさせましょう♪

✓画像や動画が適度に配置されている。

■ 画像や動画が記事内に挿入されていると、ユーザーがスクロールした時に不意に手を止めてくれる効果があります。

これは滞在時間を伸ばすテクニックとしても利用されていますね。

手を止めてくれたことで近くにある文章が目に入るので、その文章が面白ければそのまま読み進めてもらえますよ！

✓適度に文字の装飾が施されていて見栄えが良い。

■ 強調する部分は特に目立つように強調をビジュアルで見せることが大事です。

文字の大きさや太さ、色の変化がなく、淡々と文章を書いているブログは印象に残りにくいし、読みづらいのでページを閉じられてしまう可能性が高まります。

だからと言って、文字装飾をしまくればいいというわけではありません。

■ 文章の強調やメリハリをつけることは必要ですが、やりすぎには注意！！

特に色の使いすぎはNG！

よく、授業ノートに複数の蛍光ペンで所々にマークをつけることでまとめた気になっている人がいますよね？

あれって見返してみると、むしろ読みにくくてどこが重要なのがわからないです。

こんな感じに↓

強調する部分は**特に**目立つように**強調をビジュアルで見せることが大事**です。

文字の**大きさ**や**太さ**、**色**の変化がなく、**淡々と文章を書いている**
ブログは印象に残りにくいし、読みづらいので**ページを閉じられてしまう可能性**が高まります。

だからと言って、

文字装飾をしまくればいいというわけではありません。

記事も装飾のしすぎでどこが重要なのが全然わからない状態にしてしまうと、ユーザーもすぐにページを閉じてしまいます。

なので、色は3色までに抑える方がいいですね。

僕の場合、

通常の文字は黒、特に強調する部分は赤、自身の考察や感想は青。

にするようにしています。

✓適切な改行と段落をすると読みやすい。

■ 段落は、3～4行以内に収めるのがWebスタンダードだとされています。

確かに、文字がびっしりと詰められている記事は圧迫感があって読みにくいですからね。

僕らはパソコンで文章を書いているため見落としがちですが、

ブログに訪れる多くのユーザーはスマホやタブレットが占めるため、仮にパソコンで10行とか書いてしまうと、スマホで見たユーザーは15行以上とかになってしまうので、

「うわ！！読みにくい！！」

となってしまいます。

パソコンで見て4行の段落は、スマホで見ると6～7行くらいの段落になったりするので、ここが最低ラインだと思ってください。

■ それと、**段落と段落の間の空白は1行もしくは2行**にしましょう。

空白が多すぎてしまうと、スクロールが多くなってしまい、ユーザーに負担をかけてしまいますし、欲しい情報がなかなか見つからずに負担になってしまうので。

✓リズム感を意識して読みやすく♪

■ 『読みやすさ』はなにも『見た目』だけではありません。

当然、『文章』も大事になってきます。

特に『リズム』を意識しましょう。

■ 例えば、

明日は彼氏とデートで、朝8時に迎えにきてくれるので、6時に起きて、ご飯を食べて、歯磨きが終わったら、自慢のコーデ服に着替えて、メイクをして、彼氏が来るまで待機。明日が本当に楽しみです。

こんな〇〇で、〇〇して、〇〇でって続いていく文章は読みづらいですね。

一文はできるだけ短く、そしてわかりやすくが鉄則！！

それでは文章を修正しましょう！

明日は待ちに待った彼とのデート！

朝8時に迎えにきてくれるから、5時には起きて、
ご飯を食べたら歯磨きをしてすぐに準備しなきゃ！

そして、自慢のコーデに着替えて、メイク！

バッチリ決めたらあとは彼を待つのみ！

あ～、明日が本当に楽しみ♪

■ 同じ内容の文章でも、一文を短くすることで印象がだいぶ変わりますね。

作成者：アキラ

連絡先：info@akira-ogura.com

公式ブログ：<http://akira-ogura.com>